

## 令和2年度日立市シルバー人材センター事業計画

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動が生まれることが期待されている年であり、また、公益社団法人日立市シルバー人材センターにおいては、県内最初に設立されたセンターとして、記念すべき40周年を迎える大きな節目の年になります。

このように記念すべき令和2年度ではありますが、世界の動向に目を移すと、米中貿易摩擦などによって景気の停滞が顕在化してきたところに、新型コロナウイルスの感染の広がりが重なり、世界経済が減速する可能性が大きくなっているほか、日本における特殊事情として、消費税10%への移行による消費停滞との相乗的な影響が懸念される状況となっています。

こうした中であって、国内では「高齢化の進展」や「労働力不足」などの課題が継続した状態であることから、企業や地域からのシルバー人材センターに対するニーズは高いものの、定年が60歳から65歳、そして70歳へと延長になっていくといった社会的な変化などによって、センターの会員数が減少するといった状況が生まれており、全国シルバー人材センター連合会では、第二次「会員100万人達成計画」に基づいて会員増強に向けた取組みを行い、茨城県シルバー人材センター連合会においてもシルバー人材センターの活動を知ってもらい、活用してもらうための事業を展開しています。

日立市シルバー人材センターの現状としては、会員数は維持した状態にありますが、市内の事業所における廃業や事業縮小などが増えており、請負・派遣の両分野において民間事業所との契約額が減少するとともに、会員の高齢化によって従来からの仕事の依頼に支えられないという状況なども発生し、第4次中期計画に掲げた「設定目標値」の下方修正、事務局職員の定年退職による世代交代など、外部的にも内部的にも大きな変化の時期を迎えています。

このような厳しい状況にはありますが、本年度は、当センターの設立40周年という記念すべき年であり、これまでのセンターや会員の歴史を振り返りながら、新たな活動の方向を模索し、これまで以上に市民の皆様に愛され、地域に根ざした組織としての機能が発揮できるよう、「会員の増強」及び「就業の拡大」を進めるための取組を積極的に行っていきます。

### 1 令和2年度達成目標

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| (1) 会員数（年度末） | 1, 140人                   |
| (2) 契約金額     | 490, 000千円（一般労働者派遣事業を含む。） |
| (3) 就業率      | 78.0%                     |

## 2 重点実施項目

- (1) センター活動の普及啓発による会員増強
- (2) 地域特性を考慮した事業活動の拡充
- (3) 安全就業の徹底、業務に関する研修の充実

## 3 各項目の事業実施計画

### (1) センター活動の普及啓発による会員増強

#### ア 普及啓発について

- (ア) 当センターの事業内容等をよりわかりやすく伝え、一般市民の方にも広く読んでもらえるよう、パンフレットやチラシ、会報「生きがい」の内容について改善を図るとともに、配置個所を増やすよう努めます。
- (イ) 当センターの活動をわかりやすく、より多くの方に知っていただくため、ホームページやケーブルテレビ、FM、テレビや新聞などを有効に活用した幅広いPRに努めます。
- (ウ) 当センター関連の記事を日立市報に掲載してもらうほか、介護保険制度説明会でのチラシ配布、雇用センター多賀への「就業情報だより」配置など、当センターの情報提供機会を増やしていきます。
- (エ) 地域社会への奉仕活動を通して当センターのPRに努めるほか、設立40周年記念事業の機会を活用したPRに努めます。

#### イ 会員増強について

##### (ア) 入会手法の改善

- ・入会希望者説明会を毎月第3木曜日に開催するほか、当センターの施設以外での説明会開催を検討します。
- ・会員による新入会員の紹介・勧誘を促進するため、入会につながった会員に対するメリット作りを検討します。
- ・入会希望者説明会において会員になるメリットをPRするとともに、入会希望者の好みにあった仕事の紹介を行い、入会促進を図ります。

##### (イ) 女性の入会増加策の検討

- ・女性対象の入会勧誘用チラシ等を作成し、女性が集まる施設への配置、イベント等での配布を行い、女性の入会を促進するPR活動の手法を検討します。
- ・女性委員会の活動を活発化させる事業を行うほか、女性が望む就業の調査、女性だけの入会希望者説明会を検討します。

##### (ウ) 退会会員の抑制

- ・未就業会員がやりたいと思っている仕事に近い業務の紹介に努めるほか、退会を考えている会員に、活動を継続していただけるよう丁寧な相談の機会を設定します。

## (2) 地域特性を考慮した事業活動の拡充

### ア 受託事業

(ア) 公共団体、民間事業所との契約については、現在行っている受注契約を継続維持していくことを重点とするとともに、事業所への訪問・相談活動等を拡充し、新たな仕事の獲得に努めます。

(イ) 植木については、技能講習会等の開催を行い就業会員の確保を図るほか、除草についても、除草班への参加促進を図るため、配分金額等を含む作業環境の改善に努めます。

(ウ) 植木・除草作業班ともに、「作業者の確保」が最も重要な課題となっており、多くの需要に応えられるよう人材の育成に努めます。

### イ 独自事業

刃物研ぎ、給食フキン作成販売、門松作成販売を引き続き実施するとともに、業務推進委員会において新たな独自事業を検討します。

### ウ 介護保険等事業

次の3事業を実施するとともに、軽費型訪問介護事業に従事できる会員の養成を図ります。

(ア) 介護保険制度における訪問介護サービス事業

(イ) 介護保険制度における市の事業（介護予防・日常生活支援総合事業）としての指定基準型訪問介護サービス及び軽費型訪問介護事業

(ウ) 市の独自事業である軽度生活支援事業

### エ 産前産後ママサポート事業

平成28年度から行っている日立市からの受託事業を引き続き実施します。

### オ 指定管理者事業

令和2年度から大みか駅前自転車駐車が加わったことにより、すでに指定管理者となっている日立駅前及び常陸多賀駅前自転車駐車場、日立市金沢福祉作業所の4施設の適正な管理運営を行います。

### カ 一般労働者派遣事業

派遣事業を前提にした会員登録や就業開拓を推進し、業務拡大・適正就業に努めます。

### キ 地域ニーズ対応事業

関係団体との連絡調整を密にし、高齢者世帯における日常生活での困りごと及び特別な支援サービスの実施、「市の空き家対策」の推進など、地域ニーズに対応した事業について更に拡大して実施します。

### イ 就業開拓と就業提供

#### (ア) 就業開拓

① 新たな仕事の開拓のために就業開拓推進員を配置し、ダイレクトメールの発送や事業所訪問など、積極的な受注営業活動を行います。

② 「ハローワーク」や「雇用センター多賀」との連携を深め、高齢者に係る就業情報の獲得に努めます。

(イ) 会員への就業情報提供

毎月の就業情報だよりの送付、事務局前への情報掲示、会員に電話しての就業意向確認などを行うほか、未就業会員の状況把握、定例就業相談（毎月第4火曜日の午前中）などを実施します。

(3) 安全就業の徹底、業務に関する研修の充実

ア 安全意識の徹底

(ア) 「安全だより」を毎月発行するほか、安全就業を理解してもらうための資料の配布や研修会を開催します。

(イ) 安全就業に関する標語を募集し、入選作品を表彰するとともに、年間のスローガンとして採用します。

イ 安全就業委員会による安全対策活動

(ア) 安全就業委員会において、発生事故の原因究明と再発防止策を検討します。

(イ) 安全推進委員による作業現場の安全指導巡視を行うほか、作業機械等取扱講習や交通安全研修を実施します。

ウ 研修及び技能講習会の開催

(ア) 就業に必要な知識の取得や技能向上、人手不足分野での人材育成を図るため、当センター独自の研修や県連合会の講習会等に参加していきます。

① 当センターの独自研修

植木剪定、刈払機、襖・障子、刃物研ぎ、接遇等

② 「高齢者活躍人材育成事業講習会」の研修

送迎バス運転者講習、施設管理スタッフ講習、店舗業務スタッフ講習、介護施設清掃スタッフ講習、介護施設調理補助講習等

4 その他の組織活動について

(1) 役職者と当センターの情報共有を図るため、三役会議及び理事会を定例的に開催します。

(2) 当センター設立40周年記念事業の内容について、式典部会において式典内容やイベントの手法を、記念誌部会において記念誌の内容を検討し、秋の記念事業を意義多く、記憶に残るものにします。

(3) 変化する事業運営に対応するための情報収集と、事務局職員の定年退職による世代交代に伴い、組織的対応ができる事務局の体制づくりを進めるとともに、各種研修による事務局職員の資質向上を図ります。